

平成 29 年度 事業計画書

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

I. 事業活動

1. 奨学金支給事業

	平成 29 年度計画			
		うち新奨学生	支給額	総支給額
学部生	37 名	(7 名)	5 万円/月	22,200 千円/年
大学院生	※13 名	(9 名)	7 万円/月	10,920 千円/年
計	50 名		総額	33,120 千円/年

※6 年制大学の 2 名 (5、6 年生) は大学院生に含みます。

< 新奨学生の採用 >

昨年度はこのところ増配基調にあった基本財産株式の配当収入が横這いに転じたのを契機に、奨学生の総人員枠 50 名を目的に新奨学生の採用は 7 名に絞った結果、年間奨学金支給総額は予算内に留めることが出来る見込みです。今年度の日本の景気も米国発の保護主義政策の台頭等により不透明感を強めていること、また奨学生の大学院進学率も増加傾向にあり、今年度の奨学金支給総額が前年比微増と予想されるため、新規採用を前年同様 7 名程度に絞る計画にします。尚、対象の大学の一部見直しを行った上、この 7 名の新奨学生の採用につき、平成 29 年 6 月 16 日開催の「奨学生選考委員会」で決定します。

< 参 考 >

平成 28 年度実績及び平成 30 年度以降 3 年間の奨学生総数及び年間奨学金見込

	平成 28 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
学部生	41 名 (新採用 7 名)	33 名 (新採用 7 名)	31 名 (新採用 10 名)	35 名 (新採用 10 名)
大学院生	9 名	16 名	16 名	12 名
奨学生総数	50 名	49 名	47 名	47 名
年間支給額	32,160 千円	33,240 千円	32,040 千円	31,080 千円

2. 交流事業

(1) 新奨学生歓迎会・バス旅行 (平成 29 年 7 月 1 日予定)

昨年度は初めて新奨学生の歓迎会と、1 日バス旅行を組み合わせた交流事業を実施し好評でした。今年度もこの方式を継続採用することとし、見学訪問先の選定、新奨学生の歓迎方法の工夫等幹事奨学生と協力して、充実したプロジェクトに仕上げたいと考えています。

(2) 第42号会誌の発行(平成29年9月予定)

当会の会誌は主に在籍奨学生、卒業奨学生の寄稿に基づいており、奨学生同士間の親睦と知的交流を深める目的で発行します。昨年度も多くの寄稿を頂きました。今年度も引き続き極力広い範囲からの寄稿を勧奨する方針です。なお、会誌は奨学生、卒業生、役員をはじめ、当育英会の理解を深めるため関係機関、大学、団体、奨学生の保護者等に配布します。

(3) 奨学生の集い(平成29年12月予定)

奨学生の横の結束を深め、社会人の諸先輩との交流や海外からの留学生との接触の機会も持てる非常に有意義な会としての『奨学生の集い』を今年度も行います。来賓、役員、英国・アジアからの留学生、各方面で活躍の卒業生が一同に会し奨学生を刺激、激励してもらう上で有効な企画を幹事奨学生(3年生)と共に工夫していきたいと思えます。

(4) 卒業奨学生歓送会(平成30年3月予定)

本年度卒業予定者が社会人としてのスタートにあたり、その前途を祝するため、昨年度に引き続き在籍奨学生も参加し、賑やかで実りのある送別会を行う予定です。

(5) 奨学生に対する個別指導、助言

毎月奨学金給付は理事長出席の下、育英会事務所において手渡しを行うのを原則としており、その時に奨学生より学科の習得状況、将来展望、サークル・ボランティア活動等の近況報告を受け、相談があれば個別的に応じ、指導、助言もします。また、育英会事務所を学生同士の交流の場として提供します。

II. 管理活動

1. 役員会等に関する事項

(1) 理事会

開催年月日	決議事項等
平成29年6月1日	平成28年度事業報告及び決算書承認の件、評議員会召集の件
平成29年6月16日	理事長・常務理事の選任の件(改選) 報告事項
平成30年3月	平成30年度事業計画書及び収支予算書等の承認の件

(2) 評議員会

開催年月日	決議事項
平成29年6月16日	平成28年度事業報告及び決算書の承認の件 評議員選任の件(欠員補充、増員) 理事・監事選任の件(改選)

2. 内部体制整備

諸規程の整備

以上